

YMfg

この世界で。この街で。このじぶん。

VOL.06

from
北広島市
九州県
山口県

LOCAL
ISSUE

わ
た
し
た
ち
の
エ
ネ
ル
ギ
！
(energy)

未来の再エネ | 街を動かす人
始めたくなる場所 | ごはんのチカラ



変化の時代じゃない 時代なんてありました？

人の一生は　変化の連続だ。
まず　細胞が　入れ替わる。
毎年必ず　年齢が変わる。
生きてるって　そういうこと。

人が　集まって　できている社会も、
変わるのは　あたりまえ。　健全。　真っ当。

いま、　日本は　世界は　変化のときだと
声高に語られがち　だが。
いつだって　変化の時代　ですよと
涼しい顔で　いきたいものだ。

DXがもう　茶飲み話になり、
AIも　あすには　AGIに。
ゆく川の　流れは　絶えずして、
しかも　もとの水に　あらず。
と、方丈記。
令和の川を　生きてゆけ。

この世界で。
この街で。
このじぶん。

山口銀行　もみじ銀行　北九州銀行

YMfg

地域の豊かな未来を共創するために、この街に息づく、あしたを照らす人や取り組みを発信していきます。

わたしたちのエネルギー

(energy)

毎日は変化の繰り返し。変化を受け入れるためにも、これまでの枠組みを越えるためにも、わたしたちを突き動かす「エネルギー」が必要です。「地域の豊かな未来」に向けて考えます。暮らしに欠かせない「電力」はもちろん、熱い気持ちを持った「人」、その想いに応えてくれる「場所」、日々の活力になるおいしい「ごはん」……。三都に広がるさまざまなエネルギーをご紹介します。



三都で見つけた 「街を動かすエネルギー」はこちら。

AREA [北九州]

CATEGORY 未来の再エネ

WIND POWER

風力関連の総合拠点〈グリーンエネルギーポートひびき〉にかける北州市のこれまでとこれから。

<< P06

AREA [山口県]

CATEGORY 街を動かす人

VITALITY

街の編集プロジェクト
〈浜崎二ツ櫂船旗〉に集まる人々の物語。

<< P12

AREA [広島県]

CATEGORY 始めたくなる場所

CENTER

屋根がある公園〈iti SETOUCHI〉の、ある日をドキュメント。

<< P18

AREA [北九州] [広島県] [山口県]

CATEGORY ごはんのチカラ

GOOD MEAL

〈味処 矢野〉ぬか炊き定食
〈ルネサンスエコファーム〉烏骨鶏の卵
〈むすびのむさし〉若鶏むすび

<< P11
<< P17
<< P23



〈むすびのむさし〉は、
今日も街を動かしています。

創業から66年間、広島市民のソウルフードとして街に活気を生み続けてい
る〈むすびのむさし〉。地域に存在する企業も、街を動かすエネルギーです。

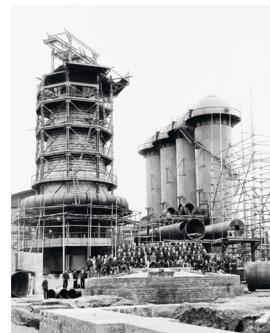
1889

門司港、特別輸出港に指定



1901

官営八幡製鐵所創業



日本の近代化を支えた「官営八幡製鐵所」。創業前に訪れた伊藤博文や井上馨との記念写真には、筑豊の炭鉱王たちも顔を揃える。

1950~80

公害問題化～環境再生・奇跡の復活

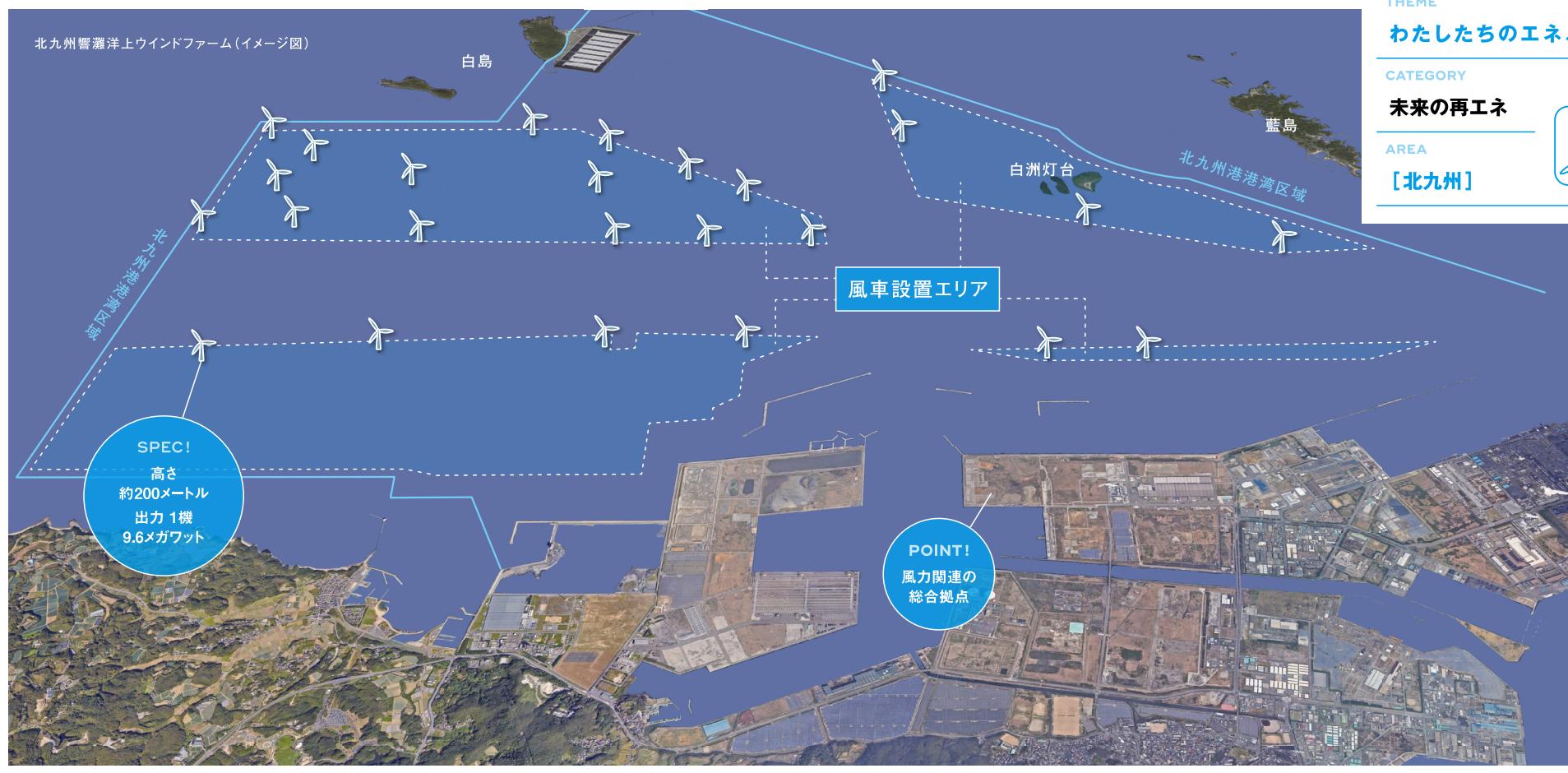


1960年代の煙に覆われた街。その後、産官民連携の取り組みから環境は急速に改善される。1980年代には、国内外で「奇跡の街」として称賛された。

1989

人口減少と産業の空洞化

(グリーンエネルギーポートひびき)事業に着手



提供:ひびきエンドエナジー(株) 提供の図を本誌にて編集

風力関連の総合拠点は
今だからできる挑戦

「もともと北九州港は輸出型の港。明治時代、筑豊炭田の石炭を扱うことから歴史が始まりました。また、1901年には「官営八幡製鐵所」が創業。鉄の城下町と呼ばれてから120年以上、ここが平成に入り、北九州市のみならず全国で産業の空洞化が進む。景気が落ち込む中、北九州市は2011年に地域活性化の対策を探り、当時日本では全く諭じられていなかった洋上風力に着目した。

「ちょうどヨーロッパで洋上風力の普

関門海峡の北西に広がる北九州市若松区沖の響灘。この洋上に2026年、日本最大級の洋上ウインドファームと風力関連の総合拠点が完成する。北九州市の官民が一体となって取り組む一大事業、そこから生まれる、電力以外の大重要なものは。

TEXT_重村直美 PHOTO_白木世志一 EDIT_後藤麻与

新しいエネルギーで、街が変わる



(グリーンエネルギーポートひびき)が照らす未来

広い洋上に颶爽と建つ、25基もの白く巨大な風車。高さは海面から約200メートル、回るローターの直径は174メートル。下関市の「海峡ゆめタワー」の高さが153メートルと言えば、その規模が分かるだろうか。

海辺のロケーションを大きく変える、この事業の名称は「グリーンエネルギーポートひびき」。2011年から北九州と風力関連の企業が一體となって取り組みを進める。北九州港内に誘致された響灘洋上ウインドファームでは、2025年度の運転開始に向けて今も日々と工事が進んでいる。

現場を案内してくれた(北九州市港湾空港局)の白井伸弥さん。なぜ洋上風力だったのか、都市の歴史を紐解くとその理由が見えてきた。

「洋上風車は確かに目を惹きます。しかし、我々の目標は風車を建てることではありません。目標はあくまでも新しい産業の創出。北九州市に風力発電に関する総合的な拠点を形成することなんですね」。

キーワードは「新しい産業」。しかし、なぜ洋上風力だったのか、都市の歴史を紐解くとその理由が見えてきた。

「洋上風車は確かに目を惹きます。しかし、我々の目標は風車を建てることではありません。目標はあくまでも新しい産業の創出。北九州市に風力発電に関する総合的な拠点を形成することなんですね」。

さうに、北九州市には1960年代に発生した公害を市民一丸となって克服した経験とノウハウがあった。「北九州市は130年の港湾の街、120年のものづくりの街、そして、公害を克服した環境の街でもあります」と白井さんは力を込める。

港湾として開かれ、ものづくりで培った技術があり、環境への意識も高い。先進の再生可能エネルギー事業は、そんな北九州市だからこそ打てる革新の一手だ。



建設記録は
noteで公開中

洋上風力のPRでタッグを組む、北九州市の白井さんと(ひびきウインドエナジー)の三好さん・辻さん



官民連携で伝える 洋上風力の魅力

「グリーンエネルギーポートひびき」事業には、多くの地元企業が参画している。北九州市の公募事業への参画を目的に地元のエネルギー関連企業5社によって生まれた事業会社「ひびきウインドエナジー」もそのうちの1社だ。

「弊社は2017年4月の設立以降、風況調査や海域調査、環境影響評価などを実施し2023年3月に着工しました」(三好邦男さん)。

「風力開発の総合拠点が響灘で実現すれば、事業者にとってもメリットが大きい。

「例えば、海域の間近に風車の基礎を製造する工場があり、完成した基礎をクレーン船で吊った状態のまま設置現地まで運ぶことができます。この効率の良さは、製造所と工事現場が近いからこそです」(辻有さん)。

また、北九州市は同社と連携して市民に事業や洋上風車の特徴を紹介するセミナーイベントも実施。毎年夏休みに開催する「グローバルウインドデイ」は、小学生が親子で風車に親しめる人気イベントだ。「毎年、定員を上回るご応募をいただき、嬉しい限りです。少しずつ洋上風力への関心が高まっているのを感じます」(白井さん)。

「グリーンエネルギーポートひびき」事業には、多くの地元企業が参画している。北九州市の公募事業への参画を目的に地元のエネルギー関連企業5社によって生まれた事業会社「ひびきウインドエナジー」もそのうちの1社だ。

「風力開発の総合拠点が響灘で実現すれば、事業者にとってもメリットが大きい。

また、北九州市は同社と連携して市民に事業や洋上風車の特徴を紹介するセミナーイベントも実施。毎年夏休みに開催する「グローバルウインドデイ」は、小学生が親子で風車に親しめる人気イベントだ。「毎年、定員を上回るご応募をいただき、嬉しい限りです。少しずつ洋上風力への関心が高まっているのを感じます」(白井さん)。

官民一体の取り組み

2019年に洋上風力発電に関する海域利用のルール・再エネ海域利用法が施行されてまだ数年。国内で洋上風車に関する動きは日が浅く、諸外国に比べてかなり出遅れている。2011年に始まった「グリーンエネルギーポートひびき」事業が本格的に動き出せる事業環境が整ったのもこの2019年だった。ただ、風力関連の総合拠点を目指す北九州市では、それ以前の2013年からエネルギーの安定供給に向けた陸上での実証実験を続けてきた。

「響灘洋上ウインドファームは最大出力22万キロワットの発電所として、20年間にわたる発電事業が計画されています。しかし、風力は自然のものなので、さまざまな条件下でのデータが必要です。そこで、本来洋上に建てる風車を陸上に設置し、長期的な詳細データを蓄積。このデータをもとに太陽光発電との併用を想定し、電力の安定供給に向けた研究を進めています」。

このような官民一体となった取り組みは世界的にも注目され、2021年秋には日本で初めて「世界洋上風力サミット」の誘致に成功。続く2023年の同会議も北九州市で開かれた。これは、国内で率先して洋上風車と向き合ってきた北九州市への評価の高さの表れ。そして今後の事業への期待を込めたエールにも思える。

風車の仕事から生まれる 膨大なビジネス

現在、洋上風車本体の製造に取り組む内メーカーではなく、欧州のメーカーに頼る他ない。だが、北九州市は響灘地区に「風力発電関連産業ゾーン」と「浮体式展開ゾーン」という受け皿を準備し、新たな産業拠点を

「グローバルメーカー」の国内でのサプライチェーンを形成するエリアが風力発電関連産業ゾーン。技術力の高い企業がある北九州市ならではの試みです。一方の浮体式展開ゾーンは今後、洋上風車の主流になるであろう浮体式基礎の製造を行なうエリア。他に先駆けて戦略的に拠点形成を進めています」。

なお、風車を支える着床式基礎についても、日本初のサプライチェーンが形成されたのは、北九州市においてである。現在「日鉄エンジニアリング」若松工場では、響灘洋上ウインドファーム向けの25基分の着床式基礎の製造が進んでいる。また、同社は昨年北海道の石狩湾に14基分の基礎を出荷している。「石狩湾の基礎は、メイドイン北九州」、そう話す白井さんの表情はどこか誇らしい。

「現在、風車の組み立て、積み出しが可能な岸壁強度の高い港湾は日本に5カ所。その1つである北九州港は、西日本エリアのウインドファーム建設時に使われる港湾です。つまり、この港湾には風車の部材が運ばれ、ストックされ、事前に組み立ててテストを経てから、SFP船で各洋上に運ばれていきます。1年半から2年かかる」。この仕事が今後の響灘では連続と発生するわけで、製造業以外にも膨大な数の産業が生まれると予測されます」。

つまり、製造業だけではなく非製造業の新しい産業も北九州市に定着し、業界を超えたビジネスが動き出す。

「この事業は地域経済を活性化させる事業になる。そう強く信じています。我々が目指すのは、ここから洋上風車の多様なサービスを全国、そして東アジアへ向けて展開できるよう拠点づくり。まだまだ道は半ばですが」。そう言って前を見据える白井さん。視線の先には枝葉のように広がる産業の道が、きっと見えている。

洋上風車の 陸上実証試験を開始



陸上に設置された実証研究用の大型風車と太陽光パネル。

再エネ海域利用法の施行 により(グリーンエネルギー ポートひびき)事業が加速



洋上風力のPRに特化した国際イベント。日本初の開催地に北九州市が選出。

日本初、北九州市で 世界洋上風力サミット開催



(日鉄エンジニアリング)が着床式基礎のサプライチェーンを形成し、一躍話題に。

日本初、風車基礎の サプライチェーンを構築



今後は浮体式風車への対応や風車の超大型化にも注力。ここでサプライチェーンの構築をさらに進めていく。

海洋工事を鋭意進行中

次世代型の 保守&管理拠点港へ

2013

2019

2021

2023

2024

2030

北九州で学び育つ
次代の街を支える
若いパワー

SDGs時代の再生可能エネルギー、海上風力発電をどう活かすべきか？教育現場でもさまざまな取り組みが進み、未来のわが街を考える力が育っている。



「海上でどうやって錆を防ぐんだろう？」——。2023年の春に北九州市の海上風力発電に関する講義を聴いて、そんな疑問が生まれました。そこで、高校2年の1年間をかけて、海水と鉄の関係性と防錆対策をテーマに「黒錆」について研究。2024年の2月と3月に研究発表を行いました。実験は予測と全く違う結果が出て行き詰まりを感じる場面も多いのですが、そこが興味深いところ。どんな失敗も無駄ではなく、大きな成果に繋がる道のひとつなのだと教わりました。2023年の秋に「世界海上風力サミット」に参加できたのも印象深い経験です。海上風力発電に関わる企業の方々の熱い志が集まって、北九州市の街や未来が変わろうとしている。その本気のパワーに感動しました。私たちの「黒錆」の研究結果はすぐに実用化はできないかもしれない。でも、ここから新しい防錆研究に繋がって、いずれ環境の街・北九州市を支える産業の役に立てたら最高です。

環境の街・北九州市の
未来をつくる研究へ

明治学園高等学校 学生の声
課題研究(環境とエネルギー班)の皆さん



貴重な風車や研究活動をまぢかに見学
北九州市海上風力キャンプ×SDGs



提供:北九州市環境局

洋上風力産業に貢献できる
次世代のリーダーを育成

北九州市立大学 先生の声
環境技術研究所 井上浩一教授

縁の下の力持ち
みたいになれたら！

北九州市が
日本を支える！

「ジャズシンガーでもある矢野さん、毎月2回のライブも好評。
「ジャズもぬか床も愛すべき古き良き文化」。



ごはんのチカラ

GOOD MEAL
『ぬか炊き定食』



鰯のぬか炊き定食 1100円(税込)

北九州市民のチカラになるソウルフードといえば、ぬか炊き。各家庭や飲食店に「うちの味」がある中、訪ねたのは国内外にファンが多い専門店。自家製のぬかはもちろん、そのぬかを育てている人にも人気の理由がある。

味処 矢野
福岡県北九州市小倉北区浅野2-4-25
TEL: 093-551-0719
営: 月~土 11:00-14:30(LO14:00) 休: 日・祝
URL: <https://www.ajidokoro-yano.net/>

PHOTO: 白木世志一 TEXT: 垣村直美 EDIT: 後藤麻子

おいしいのはね、
うちのぬか床が生きてるから。

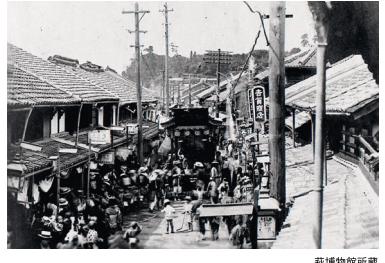
「とにかく食べてみて。目からウロコだから！」店主の矢野寿美子さんの言葉に背中を押されて、ぬか漬けをひと口。「わ、全然違う！」と思わず目を見張った。

福岡県北九州市小倉北区。繁華街から少し離れた街に、海鮮丼とぬか炊きの専門店「味処 矢野」はある。13年ほど前、夫の体調不良をきっかけに矢野さんはぬかのチカラを見直し、北九州市の郷土料理であるぬか炊きを究め始めた。

「100のぬか床があれば100の味。管理する人の手の体温と常在菌が加わることで、その人の味になる。私は母から譲り受けた90年物のぬか床をもとに、試行錯誤しながら今も身体が喜ぶおいしさを研究し続けている。みんなそうやって、自分で自分のおいしさを見つけるのよ。」

（矢野）のぬか炊きは化学調味料完全無添加。砂糖やみりん、酒、醤油も使わず、自家製のぬか床「矢野床」と少量の甜菜糖だけで味を調整する。しっかり醸酵、熟成させた「矢野床」は、いい香りがする天然の旨味調味料。自然な甘みと酸味がじっくりと食材に馴染み、優しい味へと昇華する。

ぬか床の育て方を教える「矢野床伝授会」など、教室も大好評。「各家庭でぬか床を育てて、わが家のぬか炊きを作ってみてほしい。そして小倉の店々でも自慢の味を食べ比べて、いろんな味のぬか炊きがあるな、ぬか炊き文化ってすごいなって、そう思ってもらえたなら」と矢野さん。ぬかへの愛こそおいしさのもと。人と街を元気にするチカラだ。



About HAMASAKI

伝統とともにある 町に吹く、新しい風

江戸時代から幕末にかけての史跡が多く残る萩市の中でも、「伝統的建造物」に認定された138棟もの町家や土蔵が並ぶ浜崎エリア。北前船の寄港地として回船業や水産業で繁栄し、大正から昭和初期にはイリコなどの水産加工業、夏みかんの積み出し港として栄えていた。萩の産業をリードしていた浜崎だが、昭和30年代からは海運業の衰退とともに活気を失いかけていた。

しかし、近年浜崎には新しい風が吹いている。伝統的建造物を活用した施設が次々と生まれ、呼応するように街の人々の気持ちも前向きに変化し、街全体が活気を取り戻している。

このムーブメントの火付け役が、萩の港町・浜崎を拠点に、人が前へ進むための実験を続ける〈浜崎二ツ櫂船旗〉という活動体だ。1日1組限定で一棟貸しの蔵の宿〈門168〉(14)や、イベントスペースの〈廻69〉(02)、そしてフラッグシップショップであるレストラン・喫茶・ギャラリーの要素で構成された〈舸子176〉(01)などの施設を運営。いずれも単なる飲食店や場所貸しではなく、街の人の挑戦したいという気持ちをサポートし、機会や場を創出している。浜崎が変わっていく様子を見ていると、何かやりたいという思いこそが街を動かす原動力なのかもしれないと思えてくる。〈浜崎二ツ櫂船旗〉を通じて、街を動かす人々に会いに行った。



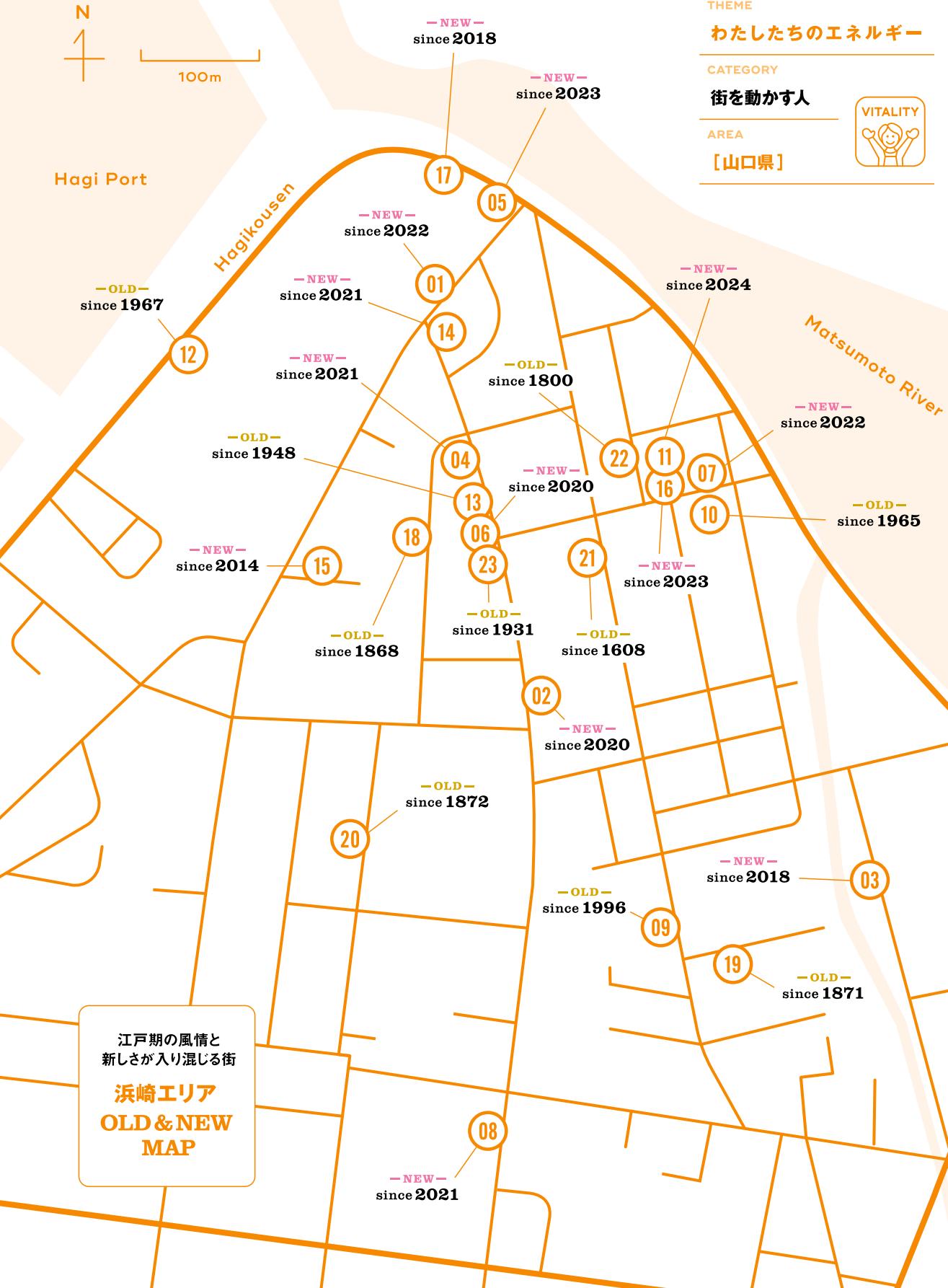
〈浜崎二ツ櫂船旗〉から始まる、街と人の新しい物語

はまさきふたつがいせんき

広いだ海の向こうから、定期船の穏やかな汽笛が響く。国の重要伝統的建造物群保存地区に指定された萩市・浜崎という小さな港町を力強く、そして軽やかに再構築していく人々がいる。

TEXT_倉本亜里沙 PHOTO_衣笠名津美
ILLUSTRATION_石橋暁 COOPERATION_浜崎しちょうる会

- 01 舳子176 築200年の町屋をフルリノベーションしたレストラン&ギャラリー。[» P14](#)
- 02 廻69 明治後期の伝統的商家建築をDIYで再生したレンタルスペース。[» P15](#)
- 03 ukishima 浜崎のスタートアップが利用できるシェアオフィス。[» P15](#)
- 04 中村船具店 むらやカフェ 創業明治25年の〈中村船具店〉が営むカフェ。[» P16](#)
- 05 ポートサンスタンド 店主たちがコンセプトに共感した商品を提供するドリンクスタンド。[» P16](#)
- 06 萩市ビジネスチャレンジ サポートセンターはぎビズ 萩周辺地域の事業者・起業希望者を伴走型で支援する相談所。[» P16](#)
- 07 喫茶えんのした 古着や額縁屋「野良房」の作品が並ぶ喫茶店。[Instagram: @kissa_ennosita](#)
- 08 さるのこしかけ 蔵人でもある店主が種子から手掛けた手打ち蕎麦。[Instagram: @sarunokoshikake2021](#)
- 09 歐風家庭料理パウゼ 海外に滞在経験を持つ夫婦によるヨーロッパの家庭料理。[TEL: 0838-26-3778](#)
- 10 大衆中華満悦 地元の方たちが愛してやまない浜崎の街中華。[TEL: 0838-25-3546](#)
- 11 海宴～kaien～ 福岡からUターンしたシェフによる萩の食材を活かした創作洋食レストラン。[Instagram: @kaien.hagi](#)
- 12 すえます製菓店 萩特産の夏みかんを使ったお菓子やジャムを販売。[TEL: 0838-22-6160](#)
- 13 乙丸製菓店 防腐剤を使わずに丁寧に作った和菓子を1個100円で販売。[TEL: 0838-22-2862](#)
- 14 萩蔵の宿 門168 江戸時代の海産物問屋の蔵を全面リバースした一棟貸切の宿。[Instagram: @kannuki168_hagi](#)
- 15 古民家ゲストハウス 萩・晩家 旅人と地域住民の交流の場にもなっているゲストハウス。[Instagram: @akatsukiyai5151](#)
- 16 浜崎の宿 萩別邸 現代の建築技術とアートを調和させた一棟貸しの宿。[Instagram: @hagi_bettei2023](#)
- 17 JIBITA “ジビタ” 萩焼をはじめ、全国から厳選した木工作品や器などを販売。[Instagram: @gallery_jibita](#)
- 18 大つち 山口県萩産の地魚の一夜干しやちりめんを製造・販売。[TEL: 0838-22-0846](#)
- 19 井上商店 しそ風味のわかめふりかけなど海産物の加工食品を販売。[TEL: 0838-22-0812](#)
- 20 三好蒲鉾 化学調味料不使用の地元の魚をメインにつくられたかまぼこなどを製造・販売。[TEL: 0838-22-0978](#)
- 21 旧萩藩御船倉 萩城築城後まもなく建てられたといわれる藩主の御座船や軍船を格納した船倉。
- 22 旧小池家土蔵 浜崎住吉祭りに関する「御船山車」や「猿田彦面山車」など、祭礼道具を展示。
- 23 旧山中家住宅 明治～昭和初期の商いや生活の様子が残る、浜崎の典型的な町家。



「きっかけ」を探していました。

ずっと大切に守られてきた、わたしたちの街だから

〈廻69〉は明治後期の伝統的商家建築をD-Yで再生したレンタルスペースで、どんな人でも、売上の10%を支払うだけで利用できる空間だ。ワークショップやイベント・マルシェなど活用の仕方は人それぞれ。現在〈廻69〉で週4日ヨガ教室を開いている古谷まり子さんは、萩出身のパートナーとの結婚を機に萩へ移住。萩に暮らしてみると、祖父母の世代からの家や街をひ孫の代まで引き継いでほしい、という意志を強く感じたといつ。「その思いが子どもたちにもきちんと伝わっているから、そして街が守られているんだと思います」。子どもを授かった時、マタニティヨガを習い始めて15年。移住後は自宅でヨガ教室を始めた。その後、縁あって〈廻69〉でも教室を開くようになると、まり子さんの出会いと活動の幅がぐんぐん広がっていく。懐かしくもあり、新しくもある古民家を

活用してもらえたなら私も嬉しいです」。

ヨガインストラクター
古谷まり子さん

廻69
山口県萩市浜崎町69
TEL: 0838-21-5210
Instagram: @kai69_hagi



MARIKO FURUYA

MAP 02



夏休み中は子どもたちもヨガ教室に参加。

毎月開催の「つきいち楽ラボ」では自然栽培の野菜や雑貨を販売。

小さな一步がどんどん加速する街です。

「価値観の新陳代謝」
がキーワード
マインドが変わる
大きな出会い

〈浜崎二ツ櫂船旗〉が運営に携わる、起業支援のイベントスペース(ukishima)。定期で街の人々が夢を語り、仲間を集めピッチコンテストが開かれている。現在浜崎でプラザディングの会社(a trunk)を経営している原田敦さんも、このピッチコンテストに参加し、人生を大きく変えたひとりだ。漠然と何か新しいことを始めたいという気持ちでピッチコンテストに参加した原田さん。当時は性格も内向的で、「とにかくプレゼンを成功させなくちゃ」という思いが強かったそうだ。しかし、〈浜崎二ツ櫂旗〉の発起人である新井さんの「原田さんのマインドを大きく変えた」「プレゼンの後、新井さんが『原田さんのプレゼンを聞いて、出資したい、応援したい』という人がいたら挙手してください」と言い始めたんです。僕はプレゼンを成功させると

a trunk代表
原田 敦さん

ukishima
山口県萩市東浜崎町4-6
URL: <https://hagirc.biz/>



ATSUSHI HARADA

MAP 03



現在の(ukishima)は、森林資源の活用に取り組む(萩・森倫館)のメンバーが利用している。

ろまでしか想像していなかったので、すごく驚きました。何かに取り組む時、それを目的とするのではなく、全てが手段で、いつもその先に何があることを考えなくちゃいけないんだということを痛感しましたね。コンテスト後、会社員を辞め独立して起業した原田さんは現在、萩にある6つの蔵の「プラザディング」を担当している。「地域の企業と一緒に仕事をし、萩の街に貢献できているのは嬉しいです。起業や特別なことをしなくとも、どんな人でも仕事を手に王手ベーシヨンを持つで楽しみながら働ける地域を作つていけたらなと思っています」。

萩のおかげで人生がもっと面白くなりました。

居場所になつてくれた浜崎の魅力を、たくさん的人に伝えたい

萩諸島が見渡せる萩商港から2分ほど歩いた先にある、築200年の町屋をフルリノベーションしたレストラン〈舸子176〉。ここで働く小川優子さんは、萩の町や人々に魅了され、奈良から一ターンしてきたひとりだ。

昔からものづくりに強い関心があった小川さんは、当時の仕事に疑問を持ちはじめていた頃、たまたま読んだ萩のゲストハウスの記事に共感して住み込みで働くことを決めた。3ヶ月限定での滞在だったため度は奈良に戻るも「この街に居続けたい」という思いは募るばかり。クラフトマンシップへの考え方

萩諸島が見渡せる萩商港から2分ほど歩いた先にある、築200年の町屋をフルリノベーションしたレストラン〈舸子176〉。ここで働く小川優子さんは、萩の町や人々に魅了され、奈良から一ターンしてきたひとりだ。

昔からものづくりに強い関心があった小川さんは、当時の仕事に疑問を持ちはじめていた頃、たまたま読んだ萩のゲストハウスの記事に共感して住み込みで働くことを決めた。3ヶ月限定での滞在だったため度は奈良に戻るも「この街に居続けたい」という思いは募るばかり。クラフトマンシップへの考え方

〈舸子176〉店主
小川優子さん

舸子176
山口県萩市浜崎町176
TEL: 0838-21-5210
Instagram: @kako176_hagi



YUKO OGAWA

MAP 01

方や作家との距離感はもちろん、これまで関わることのなかつた広い世代の人たちとの出会いと、小さな街だからこそできる繋がりが新鮮で、すぐに萩を大好きになつたという。

「移住してきた頃、萩にアトリエを構える家具職人の中原忠弦さん『こんな田舎をわざわざ選んで来て下してくれてありがとうございます』と言ったんだよ」といってくれたんです。その時ここが自分の居場所なんだ、ここに居ていいんだって強く思えて。あの言葉は今でも私の支えになっています」。

その後現在の会社に出会い、〈浜崎二ツ櫂船旗〉に携わるようになった小川さん。もっと萩や浜崎の魅力を外に伝える仕事がしたいという念願が叶形となつた。「プロジェクトが動き出した当初から、代表とも『ここ』をフランス人がキャラーケース引いて歩くの見たよね」と話したりして。海外の方にも楽しんでいただける景観だと思つて、価値のある建物も町の人たちのおかげでしっかりと残つている。わたしたちはリノベーションした建物の、もとの姿も見ているので、今のように洗練された空間で、もとの建物のパツが融合しているのは本当に素敵なことだと思います。訪れた方に萩に来てよかったとよく言つていただけるので、これからは萩といえは浜崎だよねとなるようなエリックに成長していくよう、もっともっと更新し続けたいですね」。



01_02 戸戸時代から残る梁や家具と、モダンな什器が溶け合う館内。03_台湾茶や萩の食材を活かしたコース料理が楽しめる。04_萩諸島を表現した中庭を抜けるとギャラリー〈舸子の蔵〉へ。山陰や九州など各地からセレクトした日用道具、木工、ガラス器などが並ぶ。05_小川さんと共に〈舸子176〉で働くみなさん、萩焼に魅了され移住。〈舸子の蔵〉にて萩焼の企画展を構想中。



人々は今日も集まる 屋根のある公園に、

自分で使い方を決める場

JR福山駅から、歩くこと7分ほど。ある大きなビルの1階に「iti SETOUCHI」(イチセトウチ)はある。入ってみると、テーブルに課題を広げる学生や知り合いと熱心に話しあう年配の女性、子どもと一緒にお弁当を食べる家族連れや館内のピアノを奏でる人と、年代も属性もさまざまな人たちが、思い思ひの時間を過ごしている。

「見して何をする場所か分かりにくいが、館内に掲示されている「できる」と看板を見ると、少しの場の形が現れてくれる。「ライブができる」「勉強ができる」「マルシェができる」「新しいお散歩ルートができる」「一人だけオフィスができる」「のんびりできる」などなど。使いたいのは自分次第というわけだ。

取材に訪れた日は、地元の福山高校の生徒たちが、探求学習の一環として、地場の企業をプレゼンテーションしながら販売を行っていた。興味を持って話を聞いてもらえた、「思った以上に売れ

<<< One Day. 2024.02.11
@iti SETOUCHI



て楽しい」と話す様子は、活気に満ちている。かと思えば、友達とソファに寝転びながら休憩している生徒も。この場の使い方を直感的に理解している。

金網で囲われた「Cage」と名付けられた一画では、同人誌の即売会中。そこで「スプレーをした人たちが撮影し合っている。多様なコミュニティが同時に存在して、普段は混じり合わないはずのもの同士が、ちょっと接点を持つ。(iti SETOUCHI)が標榜する「屋根のある公園」の醍醐味を垣間見た気がした。

(iti SETOUCHI)が入るビルは、かつて地下2階・地上9階建ての大きな百貨店だった。2000年の廃業後、福山市が土地建物を取得。いくつかの事業者が入居、撤退を繰り返した後、2020年の3度目の閉店後すぐに運営事業者を募ることになる。募集にあたり「5200平方メートルの敷地の半分以上をパブリックスペースに割り当てる」「地上1階と駐車場のみを使用する」といった

「と思いました」。

プレオープン期間中には、地域の人たちがこの場所をフリーマーケットや大学生のプレゼンテーションなど、さまざまに活用した。

「制約があるからできない、ではなく、ビジョンとアイデアと人の力で、まずはやってみる。これが(iti SETOUCHI)イメージなのだと体を使って理解した感じでした」と谷口さんは笑う。

街に開く

(iti SETOUCHI)の真ん中には、道路のように「デザインされた大きな通路」が横切っている。

「街との連続性を作りたくて、屋内の活動を外に持ち出したいと考えました。ところが外の土地は公開空地(※ビルやマンションの敷地に設けられた一般公衆が自由に入り出しきれる空間のこと)になつてしまつた」。

つまりこの屋内通路は公開空地となり、誰でも(自転車だって押せば)通行できる。そして外の「アウトドアリビング」と名付けられたエリアには、屋台などが出せるようになつた。おそらく日本で初めての試みだそう。「當みが外にはみ出したことで、活気が伝播できる余地が生まれました」と谷口さん。

「ミニヨン」ケーションで 自由を担保する

館内は、「食べる」「買う」「働く」「つくる」などの用途によってゾーン分けされているが、それぞれのエリアの境界は緩やかだ。さらに、目的がなくても来る「こと」が多くの場所、と感じてもらいたい工事の様子を見られるのぞき窓とした。ワークショップを実施。仕切りとして使用するパネルをくり抜いて、スツールを製作。枠だけになった仕切りは、館内の工事の過程を見るようにする。どちらの方で「自分が場所ににじみ出ること」で、途端にそこに愛着が生まれます。これを單なる街の資産として活用するだけではなく、自分の場所、と感じてもらいたい

「最近福山市がおもしろい」と聞くことが増えた。調べてみると、建築やコミュニティなどさまざまな文脈で注目されているらしい。取材に訪れる、場所のパワーを最大化しよう奮闘する人たちと出会うことになった。

EDIT&TEXT_ 浅野佳子 PHOTO_ 白木世志一

できる施設にしたいとの考え方から、そこに自由に使えるテーブルやベンチが置かれている。入居しているテナントは、たまに通路にはみ出して営業する。イベント時には屋台がズラリと並ぶこともある。館内の使用ルールはどのように決めていのだろうか。

ともに立ち上げに携わり、現在飲食テナントとしても入居する古賀大輔さんは、「話して決めるんです」とのこと。ルールは守るために活動しやすくするためにあるもの。そしてそれは関わる人たちが納得するものでなくてはならない。

古賀さんはこう話す。「そりや手間がかります。なぜそうしたいのかを伝えなきゃならないし、一度で合意しない時はすり合わせが欠かせません。

ただこの住人たちのメンタリティに『まずはやってみて、それから考える』というのがあるんですよ。やってみて違うたら、修正すればいい。絶えず話し続ける必要がありますが、コミュニケーションの量を増やすことでしか、場所の質は高まりません」。

〈iti SETOUCHI〉全体に流れる寛容さや自由な雰囲気は、手間暇をかけた自治のマインドから生まれているのかもしれません。

なにかやりたくない場所

福山市とどうのは、データムの生産や木材加工、鉄鋼業など、もともとものがくらが盛んな地域だ。その気質は〈iti SETOUCHI〉にも息づき、館内にはD-1-Y精神性が満ちている。什器や家具、イベントで使われる屋台は、D-1-Yスタジオで地域の人たちと一緒に作ったもの。看板やサインも、必要があれば製作する。谷口さんは

「(iti SETOUCHI) 全体に流れる寛容さや自由な雰囲気は、手間暇をかけた自治のマインドから生まれているのかもしれません」。



業務用素材でリーズナブルに統一感を実現。



貸しスペースをケージで囲うことでの開放感を確保した。



サイクルストアでは、ライドイベントも実施。



百貨店時代の名残を残す。



グリーン部分まではみ出してOKというローカルルールあり。



通りにもみ出す売り場。什器は館内で製作した。



オフィスエリアは現在満員御礼。



広島県福山市西町1-1-1 1F
TEL: 093-551-0719
営: 10:00-21:00
休: 店舗ごとに異なる



快適なコワーキングスペースも人気。



〈iti SETOUCHI〉でできることがパネルになっている。



来館者が自由に過ごすことができる空間。



ソファはテナントの飲食店が持ち込んだもの。



自転車で訪れた人用のラックも完備。



館内の什器や家具は、ここから生み出されている。



話を聞いた人
左: 福山電業株式会社 エリアマネジメント事業室室長 iti SETOUCHI 支店長 谷口博輝さん
右: 〈Do you wanna Green?〉オーナー まちづくり会社 leuk 代表取締役 古賀大輔さん

「ここはずっと未完成なんです」と説明する。さまざまな人が活動できることを第一義に置くからこそ、空間は変化し続けられるようにしている。
誰かがなにかやっている様子が目に入ると、「自分にもなにができるかも」と小さな欲求が目覚めるのだ。同時に多発的な取り組みを生むために、谷口さんはやりたい気持ちを刺激する運営を心がけている。

ところが、たまたま予想を超える出来事も起きた。イベント参加者の子どもから、館内を自由に動き回れるムーバブルデスクを使いたいとの申し出があった。OKを出すと、彼はデスクで移動しながら、iPadで来館者の似顔絵を描き、その場でAirDropでデータを送り販売をする小商い始めたのだ。特徴を捉えたコトラスな絵は人気を博し、その日彼はちょうどしたお小遣いを手に入れた。谷口さんは「アイデアと実行力に驚きました。こういう想定しないことが起きるんだよ」と嬉しそうだ。



ごはんのチカラ

広島で見つけた食べるとチカラが湧いてくるごはんは、とある弁当。どんなにコンビニのごはんがおいしくなっても、昔ながらの弁当でしか叶えられない満足感がある。

EDIT&TEXT_ 浅野佳子 PHOTO_ 白木世志一

GOOD MEAL 《若鶏むすび》



若鶏むすび 1100円(税込)

手えて握る。
ほいじゃけえうまいの。

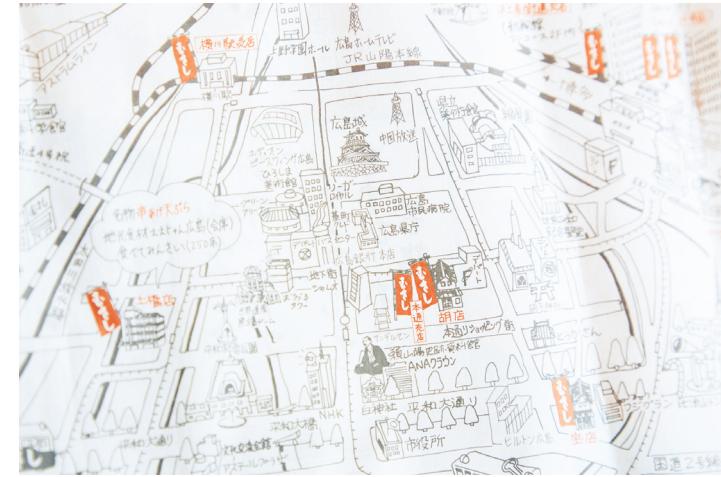
期待に胸を高鳴らせて蓋を開けると、ドドン!とおにぎり、いや「むすび」が2つと唐揚げが3つ。あまりの迫力に食べきれるか不安になりつつも、ふんわり握られたむすびはしっかり塩が効いて、思わず笑みがこぼれるおいしさ。食べごたえ満点の唐揚げを頼張ったあとは、弁当には珍しいシャキシャキの角切りキャベツで口の中をさっぱりさせる。あっという間に完食。

創業66年。県民のソウルフードとも言える存在で、広島を離れた人は、時折「むすしのむすびが食べたいなあ」と郷愁に駆られるとき聞く。店舗で食べられるむすびとどうんだけではなく、旅や行楽のお供となる弁当が好評で、中でも若鶏むすびは一番人気だ。

おいしさの秘密は「おいしくしようとする気持ち」とのことだが、シンプルな材料を使い全てが手作り。中でも店の顔である国産米を使ったむすびは、幹部全員が認めた専門職「むすび人」のみが作ることを許される。外はしっかりと、しかし米を潰さず、口に含んだときにふわりと解ける食感が信条だ。

食事の合間にぜひ眺めてほしいのが、包装紙の裏に描かれた広島の街の地図。街の変遷を見守り、継ぎ足し書き直されてきた。ユーモラスなイラストで微細に描き込まれたランドマークのそこそこに真っ赤なむすしの幟が立つ様子から、いかに広島の街に馴染んだ存在であるかが伝わってくる。ああ、思い出したらまた食べたくなってきた。

青果市場で従業員のために作っていたむすびがループ。
市場と飲食店の二刀流でがんばるぞ!と宮本武蔵にあやかり「むさし」と名付けた。



わたしたちのエネルギー | 始めたくなる場所 | [広島県]

行政と民間の幸せな関係

実は、(Iti SETOUCHI)の再生事業は、単独で行われるものではない。「福山駅周辺再生ビジョン」および「デザイン計画」という大きな方針のもと、駅周辺の4エリアでそれぞれの魅力を引き出す施策が行われている。(Iti SETOUCHI)は、その一つ「三之丸町周辺エリア」に属している。

「伏見町周辺エリア」は地権者が多く民間による再開発が困難だったところを、行政が調整に入ることで、既存の建物をリノベーションすることが可能になり、魅力的な店舗やスペースがぞくぞくと生まれている。街全体の繋がりも強くなっている。

「中央公園周辺エリア」には、Park

・PFI(民間のノウハウを活かして公園空間活用を推進する制度)を導入し、ガーデンレストランをオープン。

公園の活用推進のため、定期的なマルシェや芝刈りイベントなどユニークなイベントを実施。隣接する福山市中央図書館が公園にはみ出し、屋外での読み聞かせなども行っている。「子どもが増えた」「治安が良くなつた」と地域の人からの評判も上々だ。



昔ながらの風情と新しい感性が融合しておもしろいエリアに。



あまり活用されてこなかった公園が、民間企業がハブになることで活発になり始めている。



伏見町のリノベーションプロジェクトで生まれた店舗。

人が繋がると、街が繋がる

谷口さんと福山駅前をぐるぐる歩き回って感じたのは、それぞれの場所にいる「思いのある人たち」がつながって、今のムーブメントが起っているということだ。伏見町で店を営む人、図書館の司書さん(ファーマーズマーケットの主催者)、市役所の職員。少し歩いただけで、出会えた人たちだ。

「このまえ(Iti)で紹介されてお客様が来てくれましたよ」「次のイベントには参加できるよう、内部で話しておきますね」と、行く先々で情報を交換し、次にやりたいことを話す。立場や肩書を越えてつながりつつ、しかし自分の場所でできることに取り組む様子が印象的だった。この光景を見ていると、「これから」という想いに対する古賀さんの答えが、福山の街全体が目指している方向性のようにも思えてきた。「ボーダーレスにしたいですね。入って来たい人のための場所は、たくさんあります」。

YMfgの あした考

第1回 「エネルギー」

TEXT_ 浅野佳子
ILLUSTRATION 竹田嘉文



山口銀行本店 営業部 北九州銀行本店 営業部 もみじ銀行福山支店
濱本大輔さん 濑光幸雄さん 花崎恒治さん

今号のYMfgでは、「エネルギー」をテーマに、山口・広島・北九州のエネルギーあふれる人、土地、取り組みを特集してきた。このコーナーではYMFG社員自身が、いま自分たちの街でエネルギーを感じる企業、自分たちの街であったのためにできることを語り合う。

花崎一もみじ銀行の融資先に、広島県神石高原町で木質バイオマス発電【※1】を取り組む会社があります。福山市にありますツネイシグループの一社である「ツネイシエンジニアジー」という会社で、2025年1月の稼働を目指しています。

神石高原町は面積の8割近くが森林といふ山深いところで、今回の事業は必要な間伐材を使うことを発端に立ち上がりました。間伐材のチップをガス化する過程で、タービンを回して発電。同時に熱と炭もできます。

ツネイシグループは町内にレジャー施設やホテル、温浴施設などを所有していくて、温浴施設には熱で温めた温水を供給する予定です。バイオ炭も肥料として活用できます。間伐材という本来は処理費用がかかるものから生まれた資源を、余すことなく使って好循環を生み出せるというわけです。

瀬光一バイオマス事業には私も興味があります。以前赴任していた山口県長門市は焼鳥の街で、鶏の飼育が盛んなのですが、とにかく鶏糞の処理にお金がかかること聞いていました。その時にバイオマスにチャレンジしたいという話が上がっていましたのを思い出しました。それぞれの地域の課題解決の可能性がありそうですね。

多くのメリット

サステナビリティが生む



瀬本——もともと環境に配慮した家でくりを行ってきた企業なのですが、安成社長は普段から、受注型で受け身の姿勢になりがちな建設会社が、主体的に街を作り存在になるべきだと発信しておられたその考え方から当然やるべきチャレンジだったのだと思います。

優秀な人材を確保するためにもいい影響
響があるとのこと。いまやSDGsに取
り組むことは、多層的にメリットを生ん
でいる」とを実感しています。

CO₂排出量を把握し、効果的に削減するかというロードマップを作りました。目に見えないCO₂に対しても何から取り組んでいいかわからない状況からのスタートでしたが、お金をかけて設備投資するだけではなく、例えば冷蔵庫の中を整理整頓する工場の窓に遮光フィルムを貼るなどの今すぐにできることから、脱炭素につなげていけることなど、私自身初めて知ることがたくさんありました。最終的に国を挙げて2050年にカーボンニュートラル【※6】を実現することが掲げられていますが、「もち吉」では当面2030年まで、CO₂排出量を50%削減する目標が提示されました。

瀬光——どちらも行っています。全国に200店舗以上の展開があり、全ての

店舗の電気料金からCO₂排出量を計算し、取り組みを始めました。規模の大きな企業だと、改善のインパクトも大きいですね。

「もち吉」さんは直方市に広い土地を所有し、さまざまな企業を誘致し、先進的なプロジェクトにいち早く取り組む活発な企業です。リーディングカンパニーが地域に与える影響は大きいです。

付加価値を生む銀行とは？

瀬光——以前は「融資をする」「預金をもらう」とことで銀行の仕事が成り立つていた時代もありましたが、お金には色が付いていないので、いまやそれだけでは差別化ができません。数多ある銀行の中から私たちと付き合いたいと思ってもらえたために、銀行の仕事も付加価値を生むことができた大切な時代になりました。

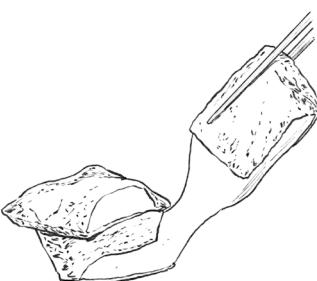
濱本——そうですね。今日話してきた

SDGsに関わるような事業は、私たちには直接できないことばかりです。ただ率先して取り組む企業に有利な金融商品を作るコンサルタント的なお手伝いをするなどの付加価値を準備することで、間接的に役立っていくのかもしれません。花崎一曰々の業務の中では、それがどうのようにならぬかすぐにはわからないところもありますが、結果的に巡り巡って地域の役に立ち、将来何かしらの形が残れば誇らしく思いますよね。私も今後神石高原町の森が再生していく姿を見ながら、間伐材で沸かした風呂に入るのを楽しみにしています(笑)。

瀬光一確かに、さまざまな企業とお話しする機会が多く、街との接点が増えるのは、銀行員あるあるですね。接点が増えれば増えるほど、その街への思い入れも強まります。これが、銀行員が仕事を向かうエネルギーかもしませんね。

瀬光一私がご紹介したいのは、福岡県直方市にある全国展開されているお菓子会社（もち吉）さんです。ちょうど新工場を作るというタイミングで、脱炭素に関わる取り組みをご提案させていただきました。YMFGの関連会社である「ワイエムコンサルティング」が伴走し、どのように

進める脱炭素



〈もち吉〉の定番商品「いなりあげもち」

[※1]木質バイオマス発電…樹木の伐採や
造林で発生した枝、葉などの林地残材、製材
工場などから発生する樹皮やこの屑などのほか
住宅の解体材や街路樹の剪定枝などの「木
質バイオマス」を燃やし、タービンを回して発電す
る仕組み。木質チップを直接燃焼して発電す
る「蒸気タービン方式」と、木質バイオマスをガ
ス化して燃焼する「ガス化-エンジン(ガスター
ビン)方式」がある。

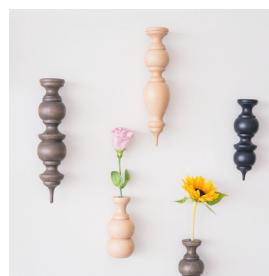
〔※2〕サステナビリティ・リンク・ローン…
SDGs、ESG戦略に連動したサステナビリティ・
パフォーマンス・ターゲットを設定し、その達成状
況に応じて、金利等の貸出条件が変動する仕
組みのことを形容。

組みのローン形態。

[※3] ESG … 持続可能な世界の実現のために、企業の長期的成長に重要な環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)

〔*4〕脱炭素… 地球温暖化の原因となる代表的な温室効果ガスである二酸化炭素の排出量をゼロにしようという取り組み。
〔*5〕OMソーラーシステム… 大規模な機械装置を使用せずに、太陽エネルギーを活用する

パッシブソーラーシステムのひとつ。
【※6】カーボンニュートラル…温室効果ガスの排出を全体としてゼロとするというもの。排出せざるを得ない分については、同じ量を吸収または除去することで、差し引きゼロを目指す。

YAMAGUCHI
《守重シゲ子》KITAKYUSHU
《STAND》

Flower vase & Hanging vase | Wall vase
(RHINES)
福岡県北九州市八幡西区藤田2-5-4

三都の 雑貨物語



N° 01
アートなウッドクラフトに
首ったけ♡

海の生き物シリーズ・タコ母さん
《守重シゲ子》

本の主人公を模した木のおもちゃをつくったことから。どの作品も母の愛と優しさに満ちています。けん玉発祥の地である廿日市市で出会ったのは、風車と虹をイメージした《MUGEN MUSOU》。日本古来の建築工法や特許技術、独自の塗装処理を施すことで、技術の成功率と強度を追求しています。小粋なインテリアとしても活躍します。ストーリー、ビジュアル、スペックで遊び心のスペースも効いています。

INFORMATION >> 6月に《STAND》の展示会を開催予定。詳細は《RHINES》のInstagramをチェック! @on_rhines

「三都の雑貨物語」では、毎号ひとつのテーマに沿って集めたものと、それにまつわるエピソードをご紹介。これは! という地元の名品があれば、Instagramの投稿からタグ付け#YMfgで編集部へご一報を。@ymfg_official

YAMAGUCHI
《守重シゲ子》HIROSHIMA
《MUGEN MUSOU》

フグサークル | イカサークル
(木のおもちゃ・MOKU)
山口県萩市熊谷町53



KIGUMI | RAINBOW
(Kendama Shop Yume.)
広島県廿日市市廿日市2-3-10

YMFG社員が自分へのご褒美として利用する、知られざるランチの名店と一押しメニューを紹介。

ILLUSTRATION_ 佐野みゆき

あしたのランチ、何食べる？

What will you have for lunch tomorrow?

2024 SPRING

01

もみじ銀行 本店営業部
河野隆朗
こだわり抜かれた
「醤油豚骨ラーメン」



02

山口銀行 上関支店
鳥打美江
並んでも食べたい
「お刺身定食」



【広島県】 01

るっきー

ランチはコンビニで済ませることが多いのですが、金曜だけは特別です。勤務地すぐそばの「るっきー」は週に1回のご褒美ランチとして通っています。スープは豚骨がしっかり炊かれたねつとり系。なのに不思議と後に残らないからお昼に食べても大丈夫。麺も自家製であることから、スープと麺のバランスも緻密に計算されているのだと思います。店内はいつも整理整頓されていますし、器は有田焼、お箸と蓮華は木曽檜。随所に光る店主のこだわりがランチに特別感を演出してくれます。野菜が不足しがちな僕は「もやし」トッピングが定番です。

広島県広島市中区幟町15-6 TEL : なし
営: 月～土曜 11:00～14:30 (なくなり次第閉店)
休: 日曜 Instagram : @ramenluchii

03

北九州銀行 飯塚支店
豊田洋光
みんなで美味しい
「バジルソースとジャガイモ
とインゲンのパスタ」



【山口県】 02

カラオケ&漁師飯 ハナともキッチン

漁師さんのお店だけあって、鮮度・味・ボリューム全てにおいて満足感があります。なかでも1日20食限定のお刺身定食は、毎回7～8種類程のお刺身が寿司桶に入ってるんです。見た目のインパクトはもちろん、種類が豊富で食べ飽きません。セットのあら汁に身がぎっしり詰まっているのも嬉しいポイント。プラス100円で白米から觸めしに変更すればご褒美ランチの完成です。個室なので小さな子どもが一緒でも安心して食事が楽しめますよ。すぐに売り切れてしまうので、開店前から駐車場で待機することもあります(笑)。

山口県柳井市南町4-2-18 TEL : 0820-23-2000
営: 月～日曜 11:00～23:00 土曜 18:00～
Instagram : @hanatomo_kitchen

【北九州】 03

Vegan Restaurant Sui

久山温泉の跡地にできた複合施設(Nayuta)内のお店です。地元のオーガニック野菜を中心に使ったヴィーガン料理を提供しています。普段はもっぱらお肉派の私。正直ヴィーガン料理は食わず嫌いしていましたが、このパスタは鮮やかな見た目で食欲をそそり、植物性材料だけでもつくれていると思えないほど満足感がありました。ソースに使われているバジルは施設内の農園で採れた自家製だから驚き。夏前には(Nayuta)に温浴施設がオープンするそうなのでドライブの目的地としてもおすすめです。

福岡県糟屋郡久山町久原1822 Nayuta 2F
TEL : 092-410-3309 営: 月～日曜 11:00～15:00
(金土のみ17:00～21:00も営業) Instagram : @nayuta_sui

LUCKY MAN COFFEE

出会えたラッキーなコーヒースタンド

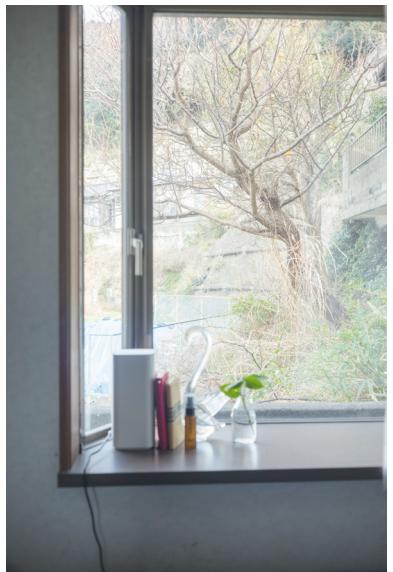
ランチの帰りにまたま会って以来、目掛けて行くほど好きなお店です。「コーヒーを通じて人々の日常にラッキー(心の余裕)をつくりたい」というお店の方の想いにグッときました。フルーツ系、無農薬系、紅茶のフレーバーなど多種多彩なラインナップ。試飲もできるので、好みの味を探す「体験」としても楽しいんです。

山口県内を移動しながら出店中 詳細はInstagramをチェック 営・休: 不定期 Instagram : @lucky.man.coffee

ランチの後で。

山口銀行 小郡支店
佐光竜弥





わたしを変えた 住空間

これまでの暮らしや生き方を見つめ直し、三都の街へ移住する選択をした人々。自分らしさと心地よさに満ちた、理想の住まいを訪ねてきました。



“好き”を我慢しない

部屋が広くなり、元来の雑貨好きが加速。「タガが外れました(笑)。最近は器を集めることにハマっています」

食の楽しさを再発見

徒歩圏内に市場があり、料理をするのが楽しくなった。「新鮮な野菜を見ているだけで、自然と顔がほころびます」

日光を浴びながら働く

寝室以外の3部屋がワークスペース。「気候や温度、日の入り方によって、その都度使う部屋を変えています」

岡島佐和さん(30代・ライター)

- ・長崎県諫早市出身
- ・地元の金融業を経て、制作会社への転職を機に福岡市へ移住し、2022年に独立
- ・趣味仲間が多く住む北九州市門司区に通うようになり、魅力を感じてターン
- ・仲間の紹介でユニークな物件を管理する大家さんと知り合い、運命的に出会えた古民家を再生して暮らしている

Instagram : @sawa_okajima

生まれ育った諫早市には、いつもそばに海があった。何かをつくる人になりたいと福岡市へ移住したのが10年前。走り続けるうちに、自分の現在地が見えなくなった。ある時、ふと目にとまったのが路上の土。そこに流れるありのままの時間は、自分で進んでいる時間とは全く違う。土の正しさに愕然として、住む場所を変えてみようと思った。

関門橋を望む一軒家と出会い、北九州市門司区へ移住。前の住人の家財道具を片付け、自分の手で少しづつ空間をつくりあげた。今では同じ街に住む編集者やデザイナーの仲間たちと、ありのままのベースでのづくりをしている。人と繋がる時間も増えた。窓から見える関門海峡に、故郷の海を重ねる。心を置く場所はいつだって、自分で決めていいんだ。

BEFORE

以前住んでいた10階の部屋からの景色。人々の生活が迫ってくるような喧騒に、いつからか閉塞感を感じるように



北九州から生まれる 海の救世主

地方では海へ直接排水することも多いので、日頃からなるべく環境負荷が少ない洗剤やヘチマタワシを使うようになります。北九州に工場を持つ「シャボン玉石けん」はもちろん存じ上げていますが、縁あって工場に訪問した際、まるで食べ物をつくるように「一つひとつ丁寧に製造されていることを知りました。実際職人はなめて石けんの素の出来を確認するそう。さらに、排水中の石けん力は小魚といつた海の生き物の餌になるというのだから驚きです。日本各地の洗剤排水が「シャボン玉石けん」由来のような排水に変われば、海の環境もずいぶん良くなるのではないかと想像します。

北九州



奥津典子さん／2013年に東京から長崎県雲仙市へ移住。2019年に夫とオーガニック直売所〈タネト〉をオープン。@norikokutsu

新しい地元にでき た集い場

帰省した時に必ず行くお店が、宇部新川駅のカフェ&バー(「AFE126」)。イツローさんはやっているので126です。たまたまお店の前を通った時、窓越しに見えたワインのセレクトが良くて、地元に新しい風が吹いたようで嬉しくなりました。イツローさんは好きが高じてソムリエの資格を取得したそうで、目利きによる自然派ワインが楽しめます。ここはコーヒーもかなり美味しいし、イツローさんは音楽にも詳しいから周辺のイケてるライブ情報を教えてくれます。宇部に訪れたままどこへ行ってみると面白い出会いがあるかもしれません。東京と行き来する僕が思うのは、宇部は意外とアクセスが良い。県外の方もぜひ。

山口県



江本賢太郎さん／1989年山口県生まれ。社調理師専門学校を修了後、国内外で経験を積み独立。東京目黒の〈kabi〉などでソムリエを務める。@restaurantkabi

少し離れた場所にいる人たちに、この街の魅力的なお店や取り組みを教えてもらいました。あしたからいつもの景色が少し違って見えるかもしれません。

から
の
い
い
景
色

森井勇佑さん／1985年兵庫県生まれ。大森立嗣監督の助監督として経験を積んだ後、2022年に「こちらあみ子」で監督デビュー。本作は全編広島県で撮影された。



また会いたくなる 街と店主とオムライス

ILLUSTRATION 黒木仁史

映画「こちらあみ子」の主人公が地元の喫茶店「リスト」にいました。大和オムライスのチキンライスが本当に美味しい。もう恋しいです。店主の陽気で気さくな人柄も通いたいと思った理由の一つ。撮影後に聞くと「今日はうまくいったか」と話し掛けてくれ、そこから始まる他愛もない会話が心地良かったです。本編のあるシーンでお店を借りたこともありお礼がしたいと伝えたら「働きぶりに感動した」と、窓口になっていたスタッフのサインが欲しいと仰って。有名無名、地元よそ者関係なく僕らと接してくれる店主は、地に足がついた街の雰囲気を表現しているようにも思いました。

わたしの働き方

interview
北九州銀行
若松支店
前田久留美
2014年入行。ジョブローテーションを経て現在は貸付係を担当。
2児(小学生と2歳)の母。

YMFGは多彩な才能が活躍できる場所を目指して、独自の研修制度を用意しています。実際にその制度を活用する社員に話を聞きました。 VOL.01

参加のきっかけや動機は? 社歴とともに自分の立場は変わることで、自分のスキルが変わらないことに抵抗がありました。確実にできると言えるものを身に付けたく、2人目の出産を終えたのは今しかないと思い



やまぐちアクセラレーションプログラム 「Mirise～ミライズ～」

最優秀賞受賞者の弘中明彦氏は、街の未来をこう見る。



interview
株式会社ブイック
代表取締役
弘中明彦
1988年山口県山口市生まれ。東京大学経済学部卒。大手金融機関、法人向けの資産運用などを経験した後、2013年にリターン。2021年に(株式会社ブイック)を設立し、人材育成や教育の視点から地域課題に取り組む。

女性法人涉外育成プログラム

法人涉外になる意思がある女性社員を対象に、インプットと現場での実践を通して即戦力を身に付けてもらう研修制度。涉外の男女比に偏りがある現状を受けて、まずは機会を増やすことを重要課題とし2022年からスタート。2023年度は各地域から幅広い年齢層の女性51名が参加した。



座学研修(写真)と実際に涉外に帯同するOJTを繰り返し、現場で使える力を身に付ける。

参加を決めました。

プログラムを通して得たもの

実務はもちろんですが、それ以外の学びもたくさんありました。

プログラム序盤に女性の執行役員

さんが「研修に参加している時点

で?

改めて子育てとの両立の難しさ

りませんでした。

同じように子育ての中の方もいて、誰にも言えなかつた悩みや課題を共有できる存在に出会えたことがあります。

新たに生まれた課題感はありますか?



@ymfg_official

公式Instagram開設!

街の方々と交流する場所がつくれたらと思い、公式Instagramを開設しました。誌面の切り抜きや制作の裏側などを発信していく予定です。感想や誌面で紹介したい情報など、みなさまの声をお待ちしております。 #YMfg

企画・制作:
ECD_川口清勝(TUGBOAT)
編集_伊藤総研・後藤麻与
エディトリアルデザイン_
村田鍼・本高太郎(BROWN:DESIGN)
校正_聚珍社
印刷_サンエムカラーラ

2024年4月発行
発行:山口フィナンシャルグループ
お問い合わせ窓口:総合企画部
広報・IR室:伊藤・沖永・竹内・稻本
住所:山口県下関市竹崎町4-2-36
電話:083-223-5545

山口県からスタートアップを創出することを目的に、県内で起業を目指す人々を支援するプログラム「Mirise～ミライズ～」(以下、「ミライズ」)。山口県が主催し、

YMFZ ZONE プラーニングが山口県から受託し運営する本プログラムの最終発表会が今年2月に萩市松下村塾で行われた。15名の参加者がビジネスプランを熱く語るなか、最優秀賞を受賞したのは県内で街づくりの会社を経営する弘中明彦氏。既に起業経験のある弘中氏がなぜ「ミライズ」に参加したのか。参加の動機やプログラムでの学び、弘中氏を感じている地域課題について話を聞いた。

これまでにも地域の課題解決を目的にしたビジネスを展開していましたが、これ以上大きなインパクトを与えないことに焦りを感じるようにならんと。もっと社会に価値を提供することに向き合いたい。そう考え始めていた頃、「ミライズ」の開催を知りました。

もやもやしている自分の刺激にな

りそうだと思い参加を決めました。数ある起業家支援プログラムの中で「ミライズ」を選んだ理由は? メインのアクセラレーター(起業家のサポート)に、東京で活躍するゼロワンブースターホールディングス・鈴木規文さんの名前が挙げられる。弘中さんは「零細企業のサポーター」に、東京で活躍するゼロワンブースターホールディングス・鈴木規文さんが名前があつて、外に開かれた雰囲気を感じたんです。実際プレゼンには県外拠点のベンチャーキャピタルがゲストに招かれたり、参加者も山口県在住の方だけでなく県外を拠点にする方がいたり。外から刺激を取り入れて、交流を広げていこうという姿勢が魅力的でしたね。

「ミライズ」での学びは、第一線で活躍する起業家の本音を聞けたことです。実務と理論で違うところを読んだりして知識だけ持つていたことを、起業家たちの

リアルな話をしていました。学び直せました。あ

と鈴木さんが何度も

聞いてくれた「誰の

どんな課題を解決す

るのか」。この視点を

とことん追求するこ

とで、僕のプランも他

のプランも解像度が

上がったと思います。

弘中さんがプレゼ

ンした事業プランの概

要を教えてください。

オンラインコーチングを通じて、

学習方法やキャリア・進路選択の

支援を行つサービスを発表しまし

た。僕自身も大学進学を機に上京

した際、都心と地方でキャリアや

進路選択の幅に大きな格差がある

ことを感じていました。特に地方

は第三者から話を聞く機会が少

なく情報が入ってこない。知らなか

で自ら変わるこ

とを選択してい

るのだから大丈

夫」と言つてくだ

さつしたことで、自

分自身にできる。

できないのバイア

スをかけるのは、

やめて、やるしか

ないと考えが固

りました。また、

参加者には自分

と同じように子育て

中の方もいて、

誰にも言えなかつた悩みや課題を

共有できる存在に出会えたことも

大きいです。

新たに生まれた課題感はありますか?

改めて子育てとの両立の難し

い今後の目標は?

私はチャンスをいただいたと思

つています。

私はチャンスをいただいたと思

つています。

私はチャンスをいただいたと思つてきます。この機会を無駄にせずに、サードスでは実際に働いている大人とその話を聞きたい子どもを繋げ、機会を提供したいと考えています。

まずは、プランのプロトタイプを作ることで

トータル選べなかつたと後悔

する子どもを減らすた

めに、サードスでは実際

に働いている大人とその

話を聞きたい子どもを

繋げ、機会を提供したい

と考えています。

私はチャンスをいただいたと思

つてきます。この機会を無駄にせ

ずに、渋谷となるお客様にも影

響します。性別を問わず子育

てに参加しやすい環境を整える

など、個人会社だけではなく社会

全体で変わっていく必要があるよ

うに感じました。

私はチャンスをいただいたと思

つてきます。この機会を無駄にせ

ずに渋谷となるお客様にも影

響します。性別を問わず子育

てに参加しやすい環境を整える

など、個人会社だけではなく社会

全体で変わっていく必要があるよ

うに感じました。

私はチャンスをいただいたと思

つてきます。この機会を無駄にせ



Forget Gravity.



磨き続けてきた高い技術で、最高のけん玉体験
MUGEN MUSOU by IWATA
「RAINBOW」

素材 玉：桜、けん：ブナ、けん先：樹脂
カラー 7色展開
耐久 独自開発のコーティング、選りすぐりの木材
特許 取替が可能な剣先